

林業技術センター情報

平成22年度の 業務概要について

技術支援部

はじめに

広島県では、「選択と集中」による明確な方向性を持った研究開発の推進と研究成果の早期発現、「県民や県内産業等に対する貢献度の高い、スリムで効率的な研究機関」を目指すため、従来の8センター（保健環境センター、食品工業技術センター、西部工業技術センター、東部工業技術センター、農業技術センター、畜産技術センター、水産海洋技術センター、林業技術センター）を統合した、「広島県立総合技術研究所」を平成19年4月に設置しました。また、研究課題に関しては、広島県研究開発推進会議で示された「県立試験研究機関のあり方提言」を踏まえ、「産業活力の強化」を中心に研究業務の重点化を図っています。

平成22年度の研究開発の概要

研究課題の重点化は、重点的に取り組むべき研究開発の分野を明示するものです。

林業分野においては、平成19年度から品目「スギ・ヒノキ」、技術領域「収穫」について重点研究分野が設定され、平成20年度からこの分野の開発研究である「低コスト林業団地」における効率的な

路網計画策定技術の開発』に取り組んでいます。

また、平成21年3月には重点研究分野が、品目「木材・木製品製造業」、技術領域「木材加工技術（不燃化等高機能化）」に見直され、平成22年度からこの分野の開発研究である『木材の不燃化等高機能化技術の開発』に取り組みます。

林業技術センターが平成22年度に実施する研究課題は、研究所の単独予算で実施する研究課題（表1）が2課題で、外部資金により実施する研究課題（表2）が、競争的研究資金2課題、受託研究1課題となっています。

簡単に各課題の概要を説明すると、次のとおりです。

〔研究所単独予算〕

① 木材の不燃化等高機能化技術の開発

建築基準法の不燃材料の基準（20分耐火、総発熱量8MJ/m²以下）を満たす厚さ12mmの県内産スギ、ヒノキ等による板材の不燃処理技術を開発します。

② 「低コスト林業団地」における効率的な路網計画策定技術の開発

低コスト団地内における路網計画策定のための経費・時間の大幅な削減と、崩れにくい適正な路線選定を目指し、重要立地要因の抽出・指標化による開設優先度（開設容易度・危険度）と高分解能衛星画像の解析による森林資源分布を統合させた路網計画策定システムを開発します。

表1 研究所の単独予算で実施する研究課題

外部評価結果を踏まえ、事業効果が高く、研究成果の企業等への移転が十分見込める実用的な研究として、平成22年度は次の課題を実施します。

No.	種別	課題名	研究期間
1	新規	木材の不燃化等高機能化技術の開発	H22-24
2	継続	「低コスト林業団地」における効率的な路網計画策定技術の開発	H20-22

表2 外部資金により実施する研究課題

(1) 競争的研究資金

県の財政事情が厳しさを増している状況から、競争的研究資金などの外部資金の積極的な活用を図っています。

No.	課題名	研究資金事業名	実施年度
1	安全・安心な乾燥材生産技術の開発	平成21年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（農林水産省）〈中核機関：石川県〉	H21-23
2	ハイリスク港指定解除に向けたマイマイガ密度管理方法の開発	平成20年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（農林水産省）〈中核機関：（独）森林総合研究所〉	H20-22

(2) 受託研究

企業等からの受託研究についても、企業の技術的課題解決に向けた直接的な支援が行えることから、積極的な受託に努めています。

No.	課題名	委託元	実施年度
1	森林吸収源インベントリ情報整備事業	（独）森林総合研究所	H18-22
2	その他一般企業等からの受託研究		

【外部資金】

①安全・安心な乾燥材生産技術の開発

高温乾燥技術の普及により、間伐材から得られる心持ち柱材に対して表面割れを少なく乾燥できるようにりましたが、樹種や処理条件によっては内部割れが発生するため、木材業界等から強度に対する不安の声が挙がっています。そこで、内部割れに対する不安を解消し、強度的に安全な乾燥材の生産技術を開発します。

②ハイリスク港指定解除に向けたマイマイガ密度管理方法の開発

広島港など、日本の6箇所の貿易港周辺ではマイマイガの密度が高く、アメリカ合衆国とカナダ両政府から、2007年にハイリスク港として指定され、これらの港からの貨物の輸出に障害をきたしています。そこで、ハイリスク港指定解除のためにマイマイガ防除対象地域の特定及び物理的防除技術の改善を行います。

③森林吸収源インベントリ情報整備事業

京都議定書において吸収源インベントリ（目録）を提出する必要があるため、追加的バイオマスデータとしての土壌、リター、枯死木の炭素動態を推計するためのデータ収集・分析を行います。

以上の課題のほかに、重点研究分野以外においては調査研究を実施し、森林・林業、木材産業に係る重点課題や緊急の課題に的確に対応します。

技術支援の概要

県内の森林・林業、木材関連の企業・団体に対する技術支援として、技術的な課題解決の依頼に応じ、調査・測定・分析・評価等の手法を通して、技術指導と併せ、技術支援レポートの交付等を有料で行う、技術的課題解決支援事業（ギカジ）を行います。

また、木材性能評価等に係る依頼試験の受託、木材加工・試験機器類に係る利用促進を図ります。

行政施策の推進に対する技術支援として、関係部の要請に応じて、林木育種事業や森林関連各種調査を実施します。

林家等に対する技術支援は、研究や調査によって獲得した知識や技術に基づき、普及組織を通じて、適時・的確に対応します。

おわりに

試験研究の成果は、皆様に広く活用していただけるよう、関係機関と連携して早期の技術移転に努めるとともに、研究成果発表会の開催や各種印刷物、ホームページ掲載などを通じて情報を提供します。

今後とも当センターの業務の推進にご支援とご協力をくださるようお願いいたします。

林業技術センターホームページ

<http://www.pref.hiroshima.lg/ringyou/>



研究成果発表会の開催